
中央大学大学院 過去問題集

法学研究科

2026 年度入試

一般入試

特別選考入試

外国人留学生入試

社会人特別入試

行動する知性。

 中央大学

法学研究科 博士前期課程

○印：出題があり掲載している科目

◎印：過年度（過去3年間）に出題があり、過年度の問題集に掲載している科目

■印で示した試験問題等は、相当期間前（5～10年程度前）に実施した入学者選抜に係るものであり、現在の入学者選抜における位置づけや大学院教育に求められる内容の変化等を踏まえ、これらを補足なく直ちに掲載した場合、現在の選抜方針と乖離が生じる可能性があります。受験生の皆さんに誤解が生じないよう、現時点では■印に関する試験問題等の掲載は行わず、まずは2025年度に当該研究科の入学者選抜を実施していない旨を明示し公表いたします。

その上で、過去の試験情報の位置づけや現在の選抜方針との関係が受験生に適切に伝わるよう、必要な注記や説明の付し方を含めた公表方法を整理し、準備が整い次第、順次公表いたします。

なお、著作物からの引用箇所は、著作権の関係から非公開としております。

専攻	試験科目	入試方式 ●印＝選択可能な科目			2026年度		ページ
		特別	一般	外国人留学生	秋季	春季	
公国 法際 ／企 民業 事関 法係 ／法 刑 事 法	英語		●	—	○	○	1
	ドイツ語		●	—	■	■	
	フランス語		●	—	■	■	
	中国語		●	—	■	■	
公法 ・民 事法 ・刑 事法	憲法	—		●	○	○	3
	行政法	—		●	◎	○	5
	環境法	—		●	■	◎	
	国際法	—		●	○	◎	6
	租税法	—		●	◎	■	
	民法	—		●	○	○	7
	商法	—		●	○	○	9
	経済法	—		●	■	■	
	民事訴訟法	—		●	○	◎	11
	労働法	—		●	◎	○	12
	刑法	—		●	○	○	13
	刑事訴訟法	—		●	◎	■	
	刑事政策	—		●	○	◎	15
	アジア法（中国法）	—		●	■	■	
	法思想史	—		●	■	■	
法制史	—		●	■	◎		
法哲学	—		●	◎	■		
国際 企 業 関 係 法	法学	—		●	■	■	
	契約法	—		●	■	■	
	商法（総則・会社法）	—		●	■	■	
	経済法	—		●	○	○	16
	知的財産法	—		●	○	○	18
	国際法	—		●	○	◎	20
	国際私法	—		●	◎	○	21
	英米法	—		●	■	■	
	経済学	—		●	■	■	
	日本経済論	—		●	■	■	
	国際関係論	—		●	■	■	
政治 学	英語		●	—	○	○	22
	ドイツ語		●	—	■	■	
	フランス語		●	—	■	■	
	中国語		●	—	■	■	
	政治学	—		●	◎	◎	
	行政学	—		●	○	■	24
	国際政治学	—		●	○	○	25
	政治史	—		●	◎	■	
	政治思想史	—		●	■	◎	

法学研究科 博士後期課程

○印：出題があり掲載している科目

◎印：過年度（過去3年間）に出題があり、過年度の問題集に掲載している科目

■印で示した試験問題等は、相当期間前（5～10年程度前）に実施した入学者選抜に係るものであり、現在の入学者選抜における位置づけや大学院教育に求められる内容の変化等を踏まえ、これらを補足なく直ちに掲載した場合、現在の選抜方針と乖離が生じる可能性があります。受験生の皆さんに誤解が生じないよう、現時点では■印に関する試験問題等の掲載は行わず、まずは2025年度に当該研究科の入学者選抜を実施していない旨を明示し公表いたします。

その上で、過去の試験情報の位置づけや現在の選抜方針との関係が受験生に適切に伝わるよう、必要な注記や説明の付し方を含めた公表方法を整理し、準備が整い次第、順次公表いたします。

なお、著作物からの引用箇所は、著作権の関係から非公開としております。

専攻	試験科目	入試方式 ●印＝選択可能な科目			2026年度		ページ
		一般	社会人特別	外国人留学生	秋季	春季	
公国 法際 ／企 民業 事関 法係 ／法 刑 事 法	英語	●	—	—	◎	○	27
	ドイツ語	●	—	—	■	◎	
	フランス語	●	—	—	■	■	
	中国語	●	—	—	■	■	
公 法 ・ 民 事 法 ・ 刑 事 法	憲法		●	—	■	■	
	行政法		●	—	■	■	
	環境法		●	—	■	■	
	国際法		●	—	■	◎	
	租税法		●	—	■	○	28
	民法		●	—	■	○	29
	商法		●	—	■	◎	30
	経済法		●	—	■	■	
	民事訴訟法		●	—	■	■	
	労働法		●	—	■	■	
	英米法		●	—	■	■	
	刑法		●	—	■	○	31
	刑事訴訟法		●	—	◎	◎	
	刑事政策		●	—	■	◎	
	アジア法（中国法）		●	—	■	■	
	法思想史		●	—	■	■	
法制史		●	—	■	■		
法哲学		●	—	■	○	32	
国 際 企 業 関 係 法	法学		●	—	■	■	
	契約法		●	—	■	■	
	商法（総則・会社法）		●	—	■	■	
	経済法		●	—	■	■	
	知的財産法		●	—	■	◎	
	国際法		●	—	■	◎	
	国際私法		●	—	■	◎	
	国際取引法		●	—	■	■	
	国際経済法		●	—	■	■	
	情報法		●	—	■	◎	
	英米法		●	—	■	■	
	経済学		●	—	■	■	
	日本経済論		●	—	■	■	
	国際関係論		●	—	■	■	
政 治 学	英語	●	—	—	■	■	
	ドイツ語	●	—	—	■	■	
	フランス語	●	—	—	■	■	
	中国語	●	—	—	■	■	
	政治学		●	—	■	■	
	行政学		●	—	■	■	
	国際政治学		●	—	■	○	33
	政治史		●	—	■	■	
	政治思想史		●	—	■	■	

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事・国立法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
英語

入試方式
一般・特別選考入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。

以下、本文24行（非公開）

【出典】N. W. Barber, *The United Kingdom Constitution: An Introduction* (Oxford University Press, 2021) pp. 39-41.

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事・国企法	博士前期

実施時期
春季

科目名
英語

入試方式
一般・特別選考入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。

以下、本文16行（非公開）

【出典】 Julian V. Roberts, *Criminal Justice* (Oxford University Press, 2015) p. 23.

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
憲法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

立法不作為の違憲性を争う訴訟について、判例を挙げながら論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

科目名
憲法

実施時期
春季

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

衆議院議員小選挙区選挙において、候補者届出政党に所属する候補者と、これに所属しない候補者との間で、選挙運動においていくつもの差異が生じている。この公職選挙法上の制度を紹介したうえ、憲法上の問題点について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
行政法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

行政上の義務履行確保について説明せよ。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事・国企法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
国際法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の2問から1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した問題の記号を記すこと。

- A. 国際刑事裁判所における補完性の原則について説明しなさい。
- B. 領域使用の管理責任とは何か？ それは国際立法にどのようにとりいれられ、国際紛争解決機関によりどのように解釈・適用されているか？ 具体例を挙げつつ述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
民法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。

1. 当事者の意思表示に基づかずに連帯債務が発生する二つの具体例を示しなさい。なお、その場合の債権者と債務者との関係について多角的に論じなさい。
2. 身分行為と意思をめぐる問題について、具体的な例を示しながら論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
民法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。

1. 民法における債権譲渡の対抗要件制度の意義について一般的に説明しなさい。

さらに、譲渡人が次のように同じ債権を次々に2回譲渡した場合に、二人の譲受人の関係、譲受人と債務者との関係、および譲受人と譲渡人との関係を多角的に論じなさい。譲受人1への譲渡は2025年12月1日になされ、その際譲渡人は2025年12月2日に同日の発送日を記載した内容証明郵便を使い債務者に通知した。譲受人2への譲渡は2025年12月3日に行われ、譲渡人は同日に同日の発送日を記載した内容証明郵便を使い債務者に通知した。両通知とも2025年12月4日にそれぞれの債務者のもとに到達した。

2. 2024年5月の民法の一部を改正する法律により、親権をめぐって行われた改正について、その特色となお残されている課題について総合的に論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
商法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の4問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の番号を記すこと。

1. 支配人がその代理権を濫用した場合とは、どのような場合をいうか、および、濫用行為の効力をどのように解すべきかについて述べなさい。
2. 会社法 467 条 1 項 2 号に該当するかどうかはどのように判断されるかについて述べなさい。
3. 匿名組合の法律関係について述べなさい。
4. 定期傭船者の船舶衝突責任について述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
商法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の4問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の番号を記すこと。

1. 商法 18 条の 2 の趣旨および内容を述べなさい。
2. 自らの解職が議題(かつ議案)となった代表取締役は、取締役会における当該議題の決議について特別の利害関係を有すると解されるかを述べなさい。
3. 場屋営業の法律関係について述べなさい。
4. 船荷証券の債権的効力について述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
民事訴訟法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の(1)と(2)のいずれか1つを選択して解答しなさい。

解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

- (1) 判決理由中の判断の拘束力について論じなさい。
- (2) 共同訴訟人間の主張共通、証拠共通の原則について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
労働法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。

1. 労組法7条の使用者概念について論じなさい。
2. 職種限定合意が認められる労働者に対する配転命令の可否について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
刑法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

不作為犯の成立要件について、特に不真正不作為犯を念頭に置いて論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
刑法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

中止犯について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
刑事政策

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問のうちから1問を選択して解答しなさい。解答に当たっては、解答する問題の番号を問題番号欄に記載すること。

- (1) 懲役刑と禁錮刑が廃止され、拘禁刑が導入された意義について述べなさい。
- (2) 我が国における来日外国人犯罪の現状と対策について述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	国際企業関係法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
経済法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

I 次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。なお、2問とも解答した場合は選択した2問すべてを採点対象外とする。

1.

「不当な取引制限」の成立要件について述べなさい。

その際、「不当な取引制限」の当事者を競争事業者のみに限定するという考え方やいわゆる「意識的並行行為」に関して、法の運用解釈上どのような問題を生じさせるかについても言及すること。

2.

イノベーションと競争法/競争政策の関係について述べなさい。

その際、具体的な行為に対する独禁法上の判断枠組み及び法的評価についても言及すること。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	国際企業関係法	博士前期

実施時期
春季

科目名
経済法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。なお、2問とも解答した場合は選択した2問すべてを採点対象外とする。

1. 日本独占禁止法に基づく「合併規制」について、関連ガイドラインの構成に沿って述べなさい。

その際、これまで公取委が公表した2以上の事例に必ず言及するとともに、それらの事例を言及しなければならない理由についても言及すること。

2. 協同組合と日本独占禁止法の関係について、関連法規、関連ガイドライン及び先例に基づく法執行の状況を踏まえて述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	国際企業関係法	博士前期

実施時期
秋季

科目名
知的財産法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の(1)(2)の両方について論述しなさい。

なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

- (1) ベルヌ条約5条1項が規定する内国民待遇の原則と、それに関連する日本著作権法上の条文とについて、その内容を説明しなさい。
- (2) (1)の例外であるベルヌ条約7条8項が規定する保護期間に関する相互主義と、それに関連する日本著作権法上の条文とについて、その内容を説明しなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	国際企業関係法	博士前期

実施時期
春季

科目名
知的財産法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

甲大学のコーラスサークル乙は、隣接県内で発生した大規模土砂災害の被災者支援を目的とするチャリティーコンサート（以下「本件コンサート」という。）を開催した。本件コンサートは甲大学内の施設で開催され、甲大学の学生や職員を対象としたものであり、120名が来場した。

本件コンサートの入場料は一人500円であったところ、その全額が支援団体に寄付されることが、本件コンサートを宣伝するポスターや乙のインスタグラム、販売されたチケット上にも表示されていた。

本件コンサートにおいて歌われた楽曲中に、丙が作詞・作曲した α という曲があり、本件コンサートの会場で配布された楽曲リストにも、 α の曲名および作詞作曲者名・丙が記載されていた。丙は、本件コンサートにおける α の演奏は丙の著作権を侵害するものであるとして、乙に対して、損害賠償を求める訴訟を提起した。丙は、どのような主張をすべきか。これに対する乙の反論として、どのような主張が考えられるか。それぞれの主張の妥当性についても論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事・国企法	博士前期

科目名
国際法

実施時期
秋季

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の2問から1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した問題の記号を記すこと。

- A. 国際刑事裁判所における補完性の原則について説明しなさい。
- B. 領域使用の管理責任とは何か？ それは国際立法にどのようにとりいれられ、国際紛争解決機関によりどのように解釈・適用されているか？ 具体例を挙げつつ述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	国際企業関係法	博士前期

実施時期
春季

科目名
国際私法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

法律関係の性質決定について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士前期

実施時期
秋季

科目名
英語

入試方式
一般・特別選考入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の英文を全て、日本語に訳しなさい。

なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

1.

以下、本文16行(非公開)

【出典】 Bent Greve, 2021, *Welfare, Populism and Welfare Chauvinism*, Polity Press

2.

以下、本文19行(非公開)

【出典】 Chantal Mouffe, 2022, *Towards a Green Democratic Revolution*, Verso

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士前期

実施時期
春季

科目名
英語

入試方式
一般・特別選考入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

以下の英文を全て、日本語に訳しなさい。
なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

1.

以下、本文15行(非公開)

【出典】 Klaus Armingeon and Giuliano Bonoli, 2007, *The Politics of Post-Industrial Welfare States*, Routledge

2.

以下、本文20行(非公開)

【出典】 Colin Crouch, 2022, *Post-Democracy After the Crises*, Polity Press

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士前期

実施時期
秋季

科目名
行政学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の3問から1問を選択して解答しなさい。解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

問1. 行政責任の構図が近代から現代にかけてどのように変化したかを説明しなさい。また、現代において行政責任を確保する方法と課題について具体的に論じなさい。

問2. 政策決定へのアイデアの影響に関して、理論的系譜に言及しながら説明しなさい。

問3. 公共サービスに関し、近接性の原理と補完性の原理を説明しなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士前期

実施時期
秋季

科目名
国際政治学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

※以下のすべての問いについて解答しなさい。なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

問 I
ヨーロッパにおける冷戦の始まりについて（おおむね 1950 年代半ばまで）、その経緯と主たる要因について（複数）説明しなさい。

問 II
経済制裁の成否について、その条件を説明しなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士前期

実施時期
春季

科目名
国際政治学

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

※以下のすべての問いについて解答しなさい。なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

問 I

満州事変から太平洋戦争勃発までの経緯をいくつかの段階に分けて説明しなさい。

問 II

国際政治における規範の役割について、研究動向をふまえて説明しなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事・国企法	博士後期

実施時期
春季

科目名
英語

入試方式
一般入学試験

※辞書使用可

※問題用紙は 2 枚、解答用紙は 1 枚です。

以下の問題について、すべて解答しなさい。
なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

I. 以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。

以下、本文 16 行 (非公開)

【出典】 Roscoe Pound, *The Spirit of the Common Law* (Boston: Beacon Press, 1963) pp. 3-4.

II. 以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。

以下、本文 12 行 (非公開)

【出典】 Mark Elliott and David Feldman, *The Cambridge Companion to Public Law* (Cambridge University Press, 2015) p. 172.

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士後期

実施時期
春季

科目名
租税法

入試方式
一般・社会人特別・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の3問から1問を選択して解答しなさい。なお、解答の冒頭には、選択した問題の番号を明記すること。

- 問1. 相続税法22条は、相続等により取得した財産を時価により評価すべき旨を定める。しかし、実際には、多くの財産は、財産評価基本通達が定める評価方法により評価されている。不動産については、同通達による評価額は、当該不動産が実際に取引される価格を相当下回ることが多い。
- それでは、特定の納税者が相続等により取得した不動産について、課税庁が、財産評価基本通達が定める評価方法によらずに、当該不動産の取引価格に相当する金額により評価することは許されるか。
- 問2. 法人税における公正処理基準と、企業会計の基準との関係について論じなさい。
- 問3. 中古品が取引された場合における、消費税の課税について論じなさい。

以上

参照条文

相続税法22条：この章で特別の定めのあるものを除くほか、相続、遺贈又は贈与により取得した財産の価額は、当該財産の取得の時ににおける時価により、当該財産の価額から控除すべき債務の金額は、その時の現況による。

法人税法22条4項：第二項に規定する当該事業年度の収益の額及び前項各号に掲げる額は、別段の定めがあるものを除き、一般に公正妥当と認められる会計処理の基準に従つて計算されるものとする。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士後期

実施時期
春季

科目名
民法

入試方式
一般・社会人特別・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の記号を記すこと。

1. 弁済による代位の制度の意義、その要件および効果について、一つの具体例を示しながら、当事者の関係を多角的に論じなさい。さらに、それに関連させて民法504条第1項の具体例を示しながらその条文の適用についても解説しなさい。
2. 家族法における法の欠缺と欠缺補充について、具体的な例を示しながら論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士前期

実施時期
春季

科目名
商法

入試方式
一般・外国人留学生入学試験

ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の4問から1問を選択して、解答しなさい。問題番号欄に、選択した問題の番号を記すこと。

1. 商法 18 条の 2 の趣旨および内容を述べなさい。
2. 自らの解職が議題(かつ議案)となった代表取締役は、取締役会における当該議題の決議について特別の利害関係を有すると解されるかを述べなさい。
3. 場屋営業の法律関係について述べなさい。
4. 船荷証券の債権的効力について述べなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士後期

実施時期
春季

科目名
刑法

入試方式
一般・社会人特別・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

緊急避難の法的性質について論じなさい。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	公・民事・刑事法	博士後期

実施時期
春季

科目名
法哲学

入試方式
一般・社会人特別・外国人留学生入学試験

※ポケット六法使用可

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次のうち1問のみを選んで答えなさい。解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

問1. 遵法義務について論じなさい。

問2. 正義論としての功利主義について論じなさい。

以上。

2026年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
法学	政治学	博士後期

実施時期
春季

科目名
国際政治学

入試方式
一般・社会人特別・外国人留学生入学試験

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

※以下のすべての問いについて解答しなさい。なお、解答の冒頭に問題番号を記入すること。

問 I

19世紀前半から19世紀末までのヨーロッパ国際政治を勢力均衡の観点から説明しなさい。

問 II

同盟における「見捨てられる不安」と「巻き込まれる不安」について、その意義と問題点を説明しなさい。